

品質管理

(目視検査)

この項目では、登録したデータセットの目視検査を実施するためのマップの準備や、マップの起動方法などについて説明しています。

目 次

1. 目視検査画面.....	2
2. マップ準備.....	4
3. データセット変換.....	6
4. 主題図設定.....	7
5. メッシュ作成.....	9
6. マップの起動.....	10
7. エラー可視化機能.....	11

1. 目視検査画面

3D 都市モデルの目視検査を実施するには、データをプロジェクトに登録している必要があります。データをプロジェクトに登録していない場合は、ユーザーガイドの「品質管理（プロジェクト管理～論理検査）」を参考に登録を完了してください。

データの登録が完了したら、プロジェクト一覧画面より「目視検査」をクリックします。



The screenshot shows the 'Project List' screen. On the left sidebar, under the 'Category' section, the 'Quality Management (3D City Model Inspection)' option is highlighted with an orange box and an arrow pointing to it from the left. At the top right, there are two buttons: 'Quality Management (3D City Model Inspection)' (purple) and 'Project List' (white). A large grey arrow points downwards from the top section to the bottom section.

Project List Screen (Bottom Section):

Project ID	Project Name	Details	Data Set	Logical Check	Visual Inspection	Delete
1	A City	Details	Data Set	Logical Check	Visual Inspection	Delete

目視検査画面では、「検査内容」と「検査準備」、「検査一覧」の項目が表示されます。目視検査を実施するには、検査の前に検査準備（マップ準備、データセット変換、主題図設定、メッシュ生成）を実行する必要があります。

目視検査

検査内容

検査No.	品質要素	品質適用範囲
C03	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。
T01	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。
T02	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxsinteger、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml::MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml::MeasureOrNullListTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

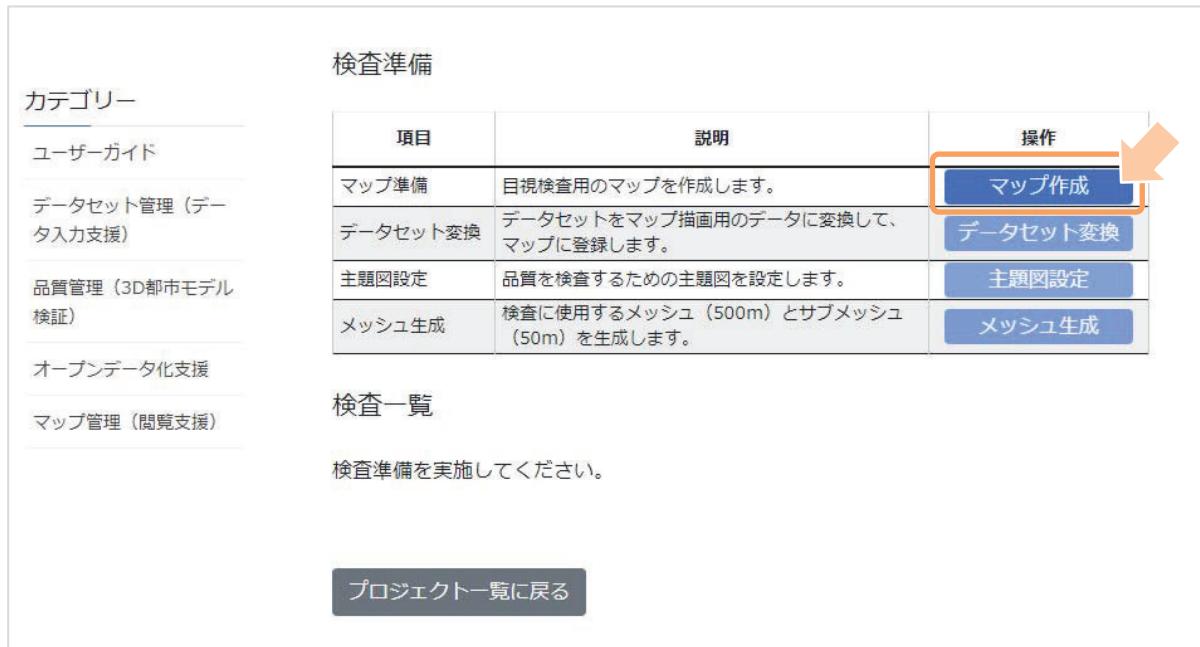
検査一覧

検査準備を実施してください。

[プロジェクト一覧に戻る](#)

2. マップ準備

目視検査用のマップを作成するために、「検査準備」にある「マップの作成」をクリックします。



検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュ（500m）とサブメッシュ（50m）を生成します。	メッシュ生成

検査一覧

検査準備を実施してください。

[プロジェクト一覧に戻る](#)

データセットの確認画面が表示されます。対象のデータセットを確認して、「マップ作成（マップの確認）」ボタンをクリックします。

マップ作成（データセットの確認）

次のデータセットについて、目視検査用のマップを作成します。よろしければ確認ボタンを押してください。

地物	データセットID	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	128	*_bldg_6697.gml	

マップ作成（マップの確認）

[目視検査に戻る](#)

[プロジェクト一覧に戻る](#)

「マップ作成（マップの確認）」画面が表示されます。作成されるマップを確認して、最下部の「マップ作成実行」ボタンをクリックします。この操作は属性項目の設定が完了してから行なう必要があります。属性項目の設定が終わっていない場合、対象欄に「対象が見つかりません」と表示されます。属性を保有しているのに対象が見つからない場合は、属性項目の設定の内容（論理検査編に記載）を確認してください。

カテゴリ

- [ユーザーガイド](#)
- [データセット管理（データ入力支援）](#)
- [品質管理（3D都市モデル検証）](#)
- [オープンデータ化支援](#)
- [マップ管理（閲覧支援）](#)

マップ作成（マップの確認）

次の目視検査用のマップを作成します。よろしければ実行ボタンを押してください。
この操作は属性項目の設定が完了してから行なう必要があります。
属性項目の設定が終わっていない場合、検査の対象が見つかりません。

建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面			
検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象
C03	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	地物インスタンス
T01	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml::MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	UMID
T02	主題正確度・定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxsinteger、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml::MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml::MeasureOrNullListTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	bldg_計測高さ

マップ作成実行 ← 目視検査に戻る プロジェクト一覧に戻る

マップ作成実行画面が表示され、マップ作成が終了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

カテゴリ

- [ユーザーガイド](#)
- [データセット管理（データ入力支援）](#)
- [品質管理（3D都市モデル検証）](#)
- [オープンデータ化支援](#)

マップ作成実行

目視検査用のマップの作成を開始しました。

終了しました。

目視検査に戻る ← プロジェクト一覧に戻る

5

3. データセット変換

アップロードしたファイルをマップに表示するためにデータセットの変換をします。目視検査画面の「検査準備」にある「データセット変換」ボタンをクリックします。



検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュとサブメッシュを生成します。	メッシュ生成

検査一覧

建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
1	参照データに存在しないのに地物インスタンス	建築物	建築物	1	2024-01-01

データセット変換画面が表示されます。データセットを確認して、「データセット変換実行」ボタンをクリックします。

データセット変換

次のデータセットについて、マップに表示するためのデータセットの変換をします。よろしければ実行ボタンを押してください。

地物	データセットID	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	128	*_bldg_6697.gml	

データセット変換実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

データセット変換実行画面が表示され、データセットの変換が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

データセット変換実行

マップに表示するためのデータセットの変換を開始しました。

3dTilesへの変換を開始しました。
Done.
成功しました。

終了しました。

[目視検査に戻る](#) [プロジェクト一覧に戻る](#)

負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。

4. 主題図設定

変換したデータセットに色塗り表示をするため、主題図設定を行います。目視検査画面の「検査準備」にある「主題図設定」ボタンをクリックします。

検査準備					
項目	説明	操作			
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成			
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換			
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定			
メッシュ生成	検査に使用するメッシュとサブメッシュを生成します。	メッシュ生成			

検査一覧					
建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面					
検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
空き地	参照データに存在しないのに地物インスタン	参考データに存在しないのに地物インスタン			2024-01-01

「主題図設定」画面が表示されます。主題図の設定方法を確認して、ページ最下部にある「主題図設定実行」ボタンをクリックします。データセット変換が完了していない場合、「主題図設定実行」ボタンはクリックできません。クリックできない場合は、先にデータセット変換を完了してください。

カテゴリー

- [ユーザーガイド](#)
- [データセット管理（データ入力支援）](#)
- [品質管理（3D都市モデル検証）](#)
- [オープンデータ化支援](#)
- [マップ管理（閲覧支援）](#)

主題図設定

次の検査項目について、主題図を設定します。よろしければ実行ボタンを押してください。

建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面

検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	主題図の設定方法
C03	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目標確認します。	地物インスタンス	対象外
T01	主題正確度・非定量的主题属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xsgYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	UMID	属性値によるスタイルを設定（種類が多い場合は対象外）
T01	非定量的主题属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xsgYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	調査要綱に基づく注5	属性値によるスタイルを設定（種類が多い場合は対象外）
T01	主題正確度・非定量的主题属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xsgYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	都市計画基礎調査要綱に基づく注11	属性値によるスタイルを設定（種類が多い場合は対象外）
T02	主題正確度・定量的主题属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:integer、xs:nonNegativeInteger、xs:double、gml:MeasureType、gml:LengthTypeまたはgml:MeasureOrNullListTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	bldg_計測高さ	属性の範囲によるスタイルを設定

主題図設定実行
目視検査に戻る
プロジェクト一覧に戻る

主題図設定実行画面が表示され、主題図の設定が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

HOME / 品質管理（3D都市モデル検証） / プロジェクト一覧

カテゴリー

- [ユーザーガイド](#)
- [データセット管理（データ入力支援）](#)
- [品質管理（3D都市モデル検証）](#)
- [オープンデータ化支援](#)
- [マップ管理（閲覧支援）](#)

主題図設定実行

主題図の設定を開始しました。

終了しました。

目視検査に戻る
プロジェクト一覧に戻る

8

5. メッシュ作成

検査単位となるメッシュ、サブメッシュの生成をします。目視検査画面の「検査準備」にある「メッシュ生成」ボタンをクリックします。

検査準備

項目	説明	操作
マップ準備	目視検査用のマップを作成します。	マップ作成
データセット変換	データセットをマップ描画用のデータに変換して、マップに登録します。	データセット変換
主題図設定	品質を検査するための主題図を設定します。	主題図設定
メッシュ生成	検査に使用するメッシュとサブメッシュを生成します。	メッシュ生成

検査一覧

建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面					
検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時
128	参照データに存在しないのに地物インスタン	フジタカオフロアセクションは登録され	地物	0000 00 00	0000 00 00

メッシュ生成画面が表示されます。対象となるデータセットを確認して、「メッシュ生成実行」ボタンをクリックします。

メッシュ生成

次のデータセットについて、検査用のメッシュを生成します。よろしければ実行ボタンを押してください。

地物	データセットID	データセット名	備考
建築物（LOD1、LOD2、LOD3）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面	128	*_bldg_6697.gml	

メッシュ生成実行

目視検査に戻る

プロジェクト一覧に戻る

メッシュ生成実行画面が表示され、メッシュの生成が完了します。「目視検査に戻る」ボタンをクリックして、目視検査画面に戻ります。

The screenshot shows the 'Mesh Generation Execution' screen. On the left is a sidebar with categories: ユーザーガイド, データセット管理 (データ入力支援), 品質管理 (3D都市モデル検証), オープンデータ化支援, and マップ管理 (閲覧支援). The main area has a heading 'メッシュ生成実行' and a message '検査用のメッシュの生成を開始しました。' Below it is a message '終了しました。' followed by two buttons: '目視検査に戻る' and 'プロジェクト一覧に戻る'. An orange arrow points from the text '終了しました。' to the '目視検査に戻る' button.

6. マップの起動

検査準備が完了したら、マップを起動します。目視検査画面の「検査一覧」から、検査 No.ごとに「マップ」ボタンをクリックします。ここでは、検査 No.「T03」の「建物用途」をクリックします。

The screenshot shows the 'Inspection List' screen. On the left is a sidebar with categories: ユーザーガイド, データセット管理 (データ入力支援), 品質管理 (3D都市モデル検証), オープンデータ化支援, and マップ管理 (閲覧支援). The main area has a heading '建築物 (LOD1、LOD2、LOD3)、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面' and a table. The table has columns: 検査No., 品質要素, 品質適用範囲, 対象, 検査回数, 検査日時, and マップ. There are four rows: C03 (完全性・過剰/漏れ), T01 (主題正確度・非定量的主題属性の正しさ), T01 (主題正確度・非定量的主題属性の正しさ), and T01 (主題正確度・非定量的主題属性の正しさ). The 'Map' button for the last row (T01, 主題正確度・非定量的主題属性の正しさ) is highlighted with an orange arrow pointing to it.

建築物 (LOD1、LOD2、LOD3)、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面						
検査No.	品質要素	品質適用範囲	対象	検査回数	検査日時	マップ
C03	完全性・過剰/漏れ	参照データに存在しないのに地物インスタンスが存在する場合、あるいは参照データに存在するのに地物インスタンスが存在しない場合を目視確認します。	地物インスタンス		0000-00-00 00:00:00	マップ
T01	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	UMID		0000-00-00 00:00:00	マップ
T01	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	店舗併用住宅、商業施設の床面積による分類		0000-00-00 00:00:00	マップ
T01	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ	インスタンスに設定された地物属性のうち、型がxs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrNullListTypeまたは、gml:StringOrRefTypeとなる主題属性が識別できるようにインスタンスを表示し、参照データに含まれるデータと比較します。	bldg_用途		0000-00-00 00:00:00	マップ

画面にマップが表示されます。標高が設定されていないデータセットは地形に隠れてしましますので、マップ左上にあるメニューの「データセット環境」の「地形」を「2D」に変更してください。

カテゴリー

- ユーザーガイド
- データセット管理（データ入力支援）
- 品質管理（3D都市モデル検証）
- オープンデータ化支援
- マップ管理（閲覧支援）

T03/建築物（LOD1、LOD2）、建築物部分、建築物付属物、及びこれらの境界面/建物用途

▼データセット
*_bldg_4612.xml []
メッシュ []
サブメッシュ []
+データセットを追加

▼データセット環境
背景図 淡色地図
地形 2D []

標高が設定されていないデータセットの場合は、「3D」から「2D」に変更します。

稲元(七) 稲元 六丘(二)
城西(四) 城西(五)

CESIUM ion

1x Oct 21 2020 09:44:55 UTC Oct 21 2020 12:00:00 UTC Oct 21 2020 18:00:00 UTC Oct 22 2020 00:00:00 UTC Oct 22 2020 06:00:00 UTC

7. エラー可視化機能

エラー可視化機能では、地物の属性をメッシュ毎に集計し、グラフを表示します。エラー（異常値）がある場合はグラフに異常値が表現されます。属性を集計してグラフで表現することで、入力した属性に異常値がないかを確認します。



地物の属性をメッシュ毎に集計するため、まずは集計するためのフォーマットに変換します。
「CityGML を内部データセットに変換」ページにある内部データセットへ変換をクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

データセット一覧

データセットID	データセット名	フォーマット	内部データセットへ変換
53	53394629_bldg_6697	CityGML(iur)	内部データセットへ変換
55	53394629_bldg_6697_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換
68	*_bldg_6697.gml	CityGML(iur)	内部データセットへ変換
74	*_bldg_6697.gml_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換
79	BUI_内部データセット_citygml	CityGML	内部データセットへ変換

データセットのうち、ファイルフォーマットが CityGML であるデータセットを表示しています

「内部データセットへ変換確認」画面が表示されます。対象となるデータセットを確認して、「属性項目の設定」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / CityGMLを内部データセットに変換

内部データセットへ変換確認

次のデータセットを内部データセットへ変換します。よろしければ実行ボタンを押してください。

データセットID	79
データセット名	BUI_内部データセット_citygml
フォーマット	CityGML

属性項目の設定 **一覧に戻る**

「フィールド名」、「型」、「桁」、「属性名称」、「単位」を設定して、「内部データセットへ変換確認」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Attribute Item Setting' page. The main area displays a table of attribute items with columns: タグ名 (Tag Name), フィールド名 (Field Name), 型 (Type), 桁 (Precision), 属性名 (Attribute Name), 単位 (Unit), 属性値 (サンプル) (Sample Value), and コード (Code). An orange arrow points from the '確認' (Check) button at the bottom left to the '内部データセットへ変換確認' (Convert to Internal Dataset Confirmation) button at the bottom center. Another orange arrow points from the '確認' button to the table.

タグ名	フィールド名	型	桁	属性名	単位	属性値 (サンプル)	コード
gml:id	gml_id	VARCHAR	100	gml_id		BUL711	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETRY	5970	空間データ		...	
gen:value	gen_val	VARCHAR	100	市区町村コード		220	
gen:value	gen_val2	VARCHAR	100	建物用途の種類		2	
gen:value	gen_val3	DOUBLE	100	地上階数		1	
gen:value	gen_val4	VARCHAR	100	建物構造の種類		2	
gen:value	gen_val5	INT	100	1階床面積		800	
gen:value	gen_val6	DOUBLE	100	地下階数		0	
gen:value	gen_val7	INT	100	延床面積		800	

[内部データセットへ変換確認](#) [一覧に戻る](#)

「内部データセットへ変換確認」画面が表示されます。内容を確認して、問題がなければ「バックグラウンドで実行」ボタンをクリックします。内容を修正する必要がある場合は、「属性の設定に戻る」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Conversion Confirmation' page. It features a table of attribute items identical to the previous one. A large orange arrow points from the '確認' button at the bottom left to the 'バックグラウンドで実行' (Background Execution) button at the bottom center. A green arrow points from the '属性の設定に戻る' (Return to Attribute Setting) button at the bottom right back up to the '属性の設定' (Attribute Setting) section above it. A message '設定内容に問題がないか確認をします。' (Check if there are any problems with the setting content.) is displayed in the center.

タグ名	フィールド名	型	桁	属性名	単位	属性値 (サンプル)	コード
gml:id	gml_id	VARCHAR	100	gml_id		BUL711	
bldg:lod1Solid	the_geom	GEOMETRY	5970	空間データ		...	
gen:value	gen_val	VARCHAR	100	市区町村コード		220	
gen:value	gen_val2	VARCHAR	100	建物用途の種類		2	
gen:value	gen_val3	DOUBLE	100	地上階数		1	
gen:value	gen_val4	VARCHAR	100	建物構造の種類		2	
gen:value	gen_val5	INT	100	1階床面積		800	
gen:value	gen_val6	DOUBLE	100	地下階数		0	
gen:value	gen_val7	INT	100	延床面積		800	

[バックグラウンドで実行](#) [属性の設定に戻る](#) [一覧に戻る](#)

修正が必要な場合はここでクリックしてひとつ前の画面に戻ります。

内部データセットへ変換が実行されます。

The screenshot shows a user interface for managing data sets. On the left, there is a sidebar with categories: ユーザーガイド (User Guide), データセット管理 (データ入力支援) (Data Set Management (Data Input Support)), 品質管理 (3D都市モデル検証) (Quality Management (3D City Model Verification)), オープンデータ化支援 (Open Data Conversion Support), and マップ管理 (閲覧支援) (Map Management (Viewing Support)). The main content area has a title '内部データセットへ変換実行 (バックグラウンド処理)' (Internal Data Set Conversion Executed (Background Processing)) and a message 'データセットを内部データセットへ変換について、バックグラウンド処理に登録しました。' (The registration for the background processing of the data set conversion has been completed.). Below this, it says '1件登録しました。' (1 item registered). A button labeled '一覧に戻る' (Return to List) is visible.

変換した内部データセットを 3D グラフに集計します。サイトの左側にあるカテゴリーの「データセット管理」をクリックし、表示された画面の「内部データセットを 3D グラフに集計」をクリックします。

The screenshot shows a list of items under the 'Data Set Management (Data Input Support)' category. One item, '内部データセットを3Dグラフに集計' (Internal Data Set to 3D Graph Aggregation), is highlighted with a red box and an orange arrow pointing to it. The list also includes other items like 'データセット一覧' (List of Data Sets), 'CityGMLを内部データセットに変換' (Convert to Internal Data Set), '基盤地図情報 (GML) を内部データセットに変換' (Convert Base Map Information (GML) to Internal Data Set), etc.

対象のデータセットの「3D グラフに集計」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

データセット ID	データセット名	フォーマット	3Dグラフに集計
66	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット_属性結合	内部データセット	3Dグラフに集計
69	*_bldg_6697.gml_属性項目設定	内部データセット	3Dグラフに集計
71	*_bldg_6697.gml_メッシュ	内部データセット	3Dグラフに集計
72	*_bldg_6697.gml_サブメッシュ	内部データセット	3Dグラフに集計
73	*_bldg_6697.gml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
75	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
76	FG-GML-503053-BldA-20200401-0001_2_内部データセット_属性結合	内部データセット	3Dグラフに集計
78	BUL_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
84	BUL_内部データセット_citygml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計
85	BUL_内部データセット_citygml_内部データセット	内部データセット	3Dグラフに集計

データセットのうち、ファイルフォーマットが 内部データセット であるデータセットを表示しています



データセットの確認画面が表示されます。確認後、「集計の設定」ボタンをクリックします。

HOME / データセット管理（データ入力支援） / 内部データセットを3Dグラフに集計

データセットID	85
データセット名	BUL_内部データセット_citygml_内部データセット
フォーマット	内部データセット

データセットの確認（内部データセットを3Dグラフに変換）

次のデータセットについて、3Dグラフに変換します。よろしければ設定ボタンを押してください。

集計の設定 **一覧に戻る**



集計の設定画面が表示されます。「高さ」、「高さの倍率」、「メッシュコード」を設定します。
集計について設定後、「設定の確認」ボタンをクリックします。

集計の設定 (内部データセットを3Dグラフに変換)

集計の設定を行い、設定後、確認ボタンを押してください。

高さ	1階床面積の合計
高さの倍率	0.05
色	色はマップの機能で設定します
メッシュコード	3次メッシュ

設定の確認 一覧に戻る

確認画面が表示されます。内容を確認して、「3D グラフに集計実行」ボタンをクリックします。

設定の確認 (内部データセットを3Dグラフに変換)

集計に関する設定内容を確認して、実行ボタンを押してください。

高さ	1階床面積の合計
高さの倍率	0.05
色	色はマップの機能で設定します
メッシュコード	ソシユ

3Dグラフに集計実行 集計の設定に戻る 一覧に戻る

内部データセットを 3D グラフに変換が実行されます。

The screenshot shows a user interface for managing data sets. On the left, there is a sidebar with categories: HOME, ユーザーガイド (User Guide), データセット管理 (データ入力支援) (Data Set Management (Data Input Support)), 品質管理 (3D都市モデル検証) (Quality Management (3D City Model Verification)), オープンデータ化支援 (Open Data Conversion Support), and マップ管理 (閲覧支援) (Map Management (Viewing Support)). The main area has a title '内部データセットを3Dグラフに変換実行' (Convert Internal Data Set to 3D Graph) and a message '内部データセットを3Dグラフに変換を実行しました。' (The conversion of the internal data set to a 3D graph has been completed.). Below this, it says '3dTilesへの変換を開始しました。' (Conversion to 3dTiles has started.), 'Done.', and '成功しました。' (Success). A button labeled '一覧に戻る' (Return to List) is at the bottom.

3D グラフをマップで確認する手順は、ユーザーガイドの「マップの操作について」を確認してください。

負荷が大きい処理はキューで待機となる場合がありますが、バックグラウンド処理一覧から状況を確認することができます。